

13年度第3四半期(累計) 決算説明資料

2014年2月4日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

本日のご説明内容

1. 第3四半期(累計)期間 決算について
 - 1-1) グループ概況
 - 1-2) セグメント情報
 - 1-3) 営業利益の変動要因
 - 1-4) P/Lの概要
 - 1-5) B/Sの概要
 - 1-6) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想について
 - 2-1) サマリ

グループ概況

対前年141億円の売上増、111億円の営業利益改善

- ・情報通信事業は堅調
- ・プリンタ事業は構造改革により大幅改善

【3Q累計平均為替レート】

通貨	当期	前年
USD	99.4	80.0
EUR	132.2	102.2

※為替差額の影響

対前年同期 売上高(+211億円)、営業損益(+34億円)

(単位:億円)	13年度		前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	1,885	101	1,841	93
プリンタ	892	13	815	△90
EMS	268	9	232	9
その他	133	21	149	26
消去・本社費	—	△41	—	△45
合計	3,178	104	3,037	△7

セグメント情報 【情報通信】

■ 為替による影響

➤ 売上高68億円増収、営業利益13億円増益

■ 売上高: 為替影響を除き24億円減収

➤ ソリューション&サービス:

- ・ソリューションは金融、法人向けが引き続き堅調
- ・サービスは大型案件が減少

➤ 通信システム:

- ・企業NWや保守工事に加えてコアNWが堅調

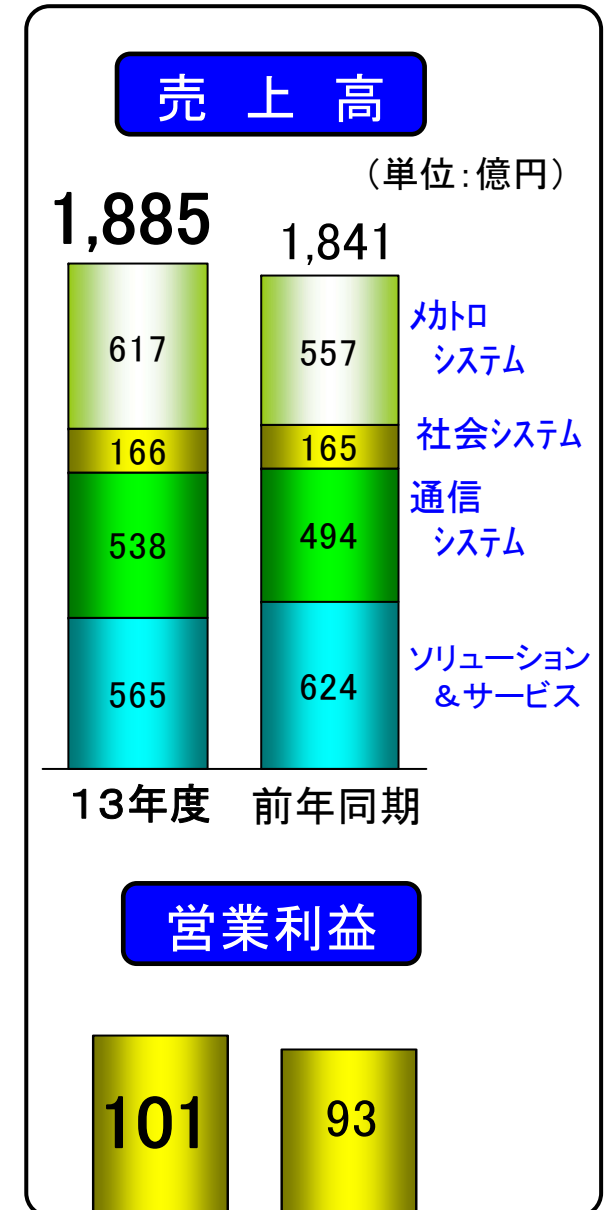
➤ 社会システム:

- ・好調だった前年並みを維持

➤ メカトロシステム:

- ・国内ではコンビニ向けATMや現金処理機、金融機関向け営業店端末が好調
- ・中国向けATMは、一部顧客向け出荷が来期へずれたものの概ね堅調

■ 営業利益: 為替影響を除き5億円減益 価格下落および費用増などにより減益



セグメント情報【プリンタ】

■ 為替による影響

➤ 売上高143億円増収、営業利益21億円増益

■ 売上高: 為替影響を除き66億円減収

➤ LEDプリンタ:

- ・販売戦略を見直し注力機種を絞込んだことにより販売台数が減少
- ・コピー領域へ向けた新商品販売は順調

➤ ドットインパクト

- ・WWで市場縮小傾向の中、アジアでは堅調に推移

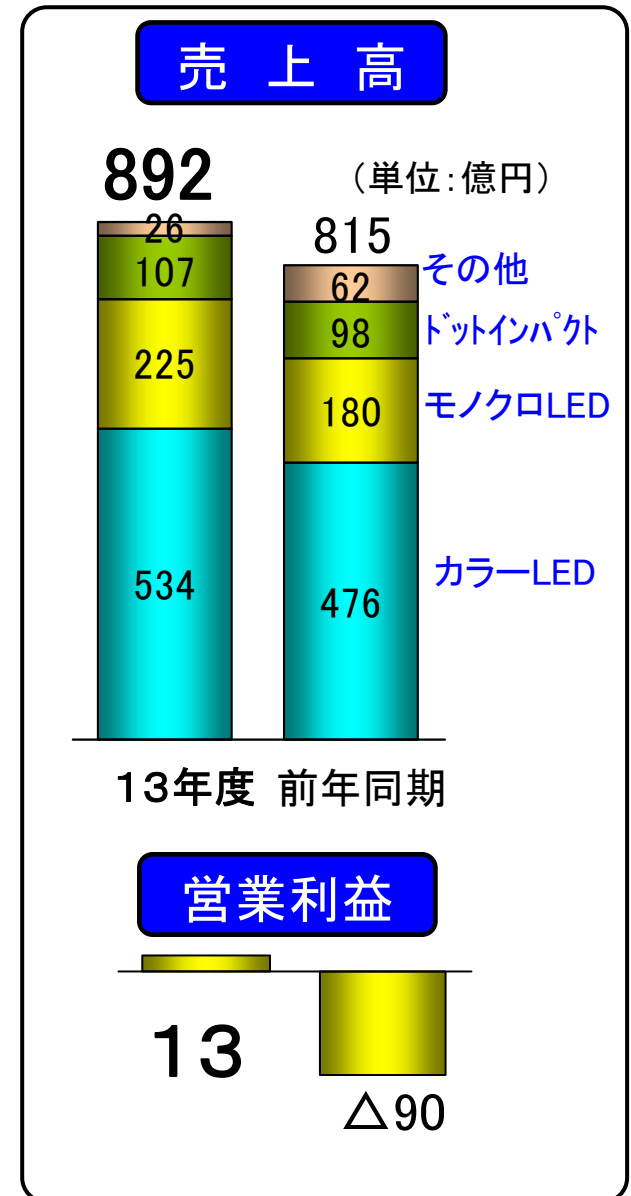
➤ その他

- ・スペイン子会社の営業休止により減少

■ 営業利益: 為替影響を除き82億円改善

事業構造改革による固定費の削減等により
物量減や価格下落の影響を吸収して大幅改善

WW: Worldwide



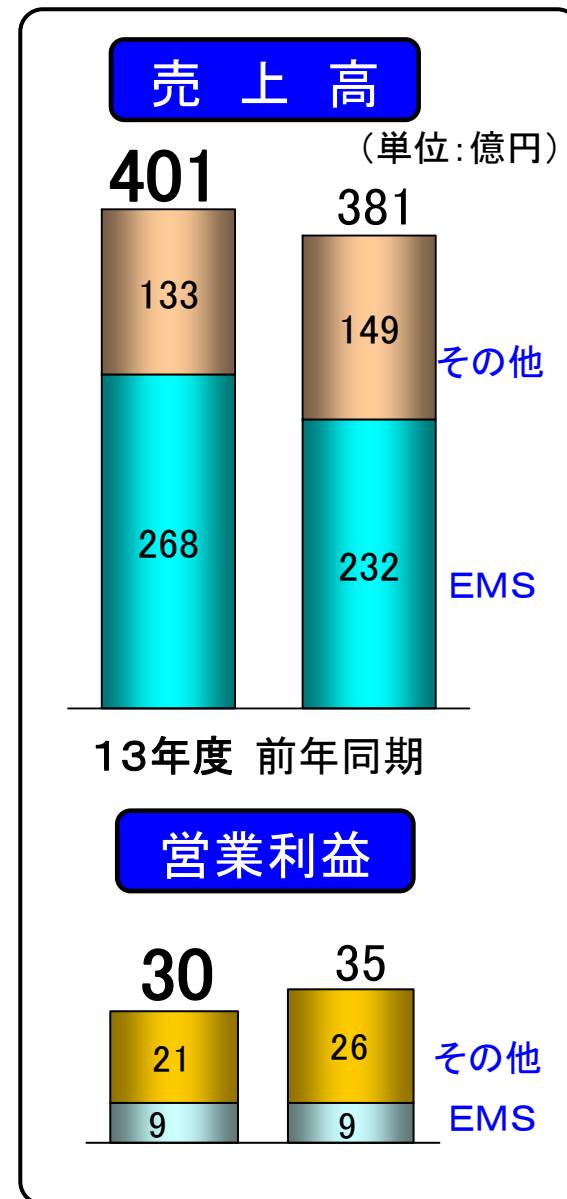
セグメント情報【EMS】・【その他】

■ 売上高

- EMS: 36億円の増収
 - ・通信機器市場向けが堅調
 - ・OKI田中サーキットの連結効果
- その他: 16億円の減収
 - ・部品関連は堅調
 - ・アミューズメント向けは減少

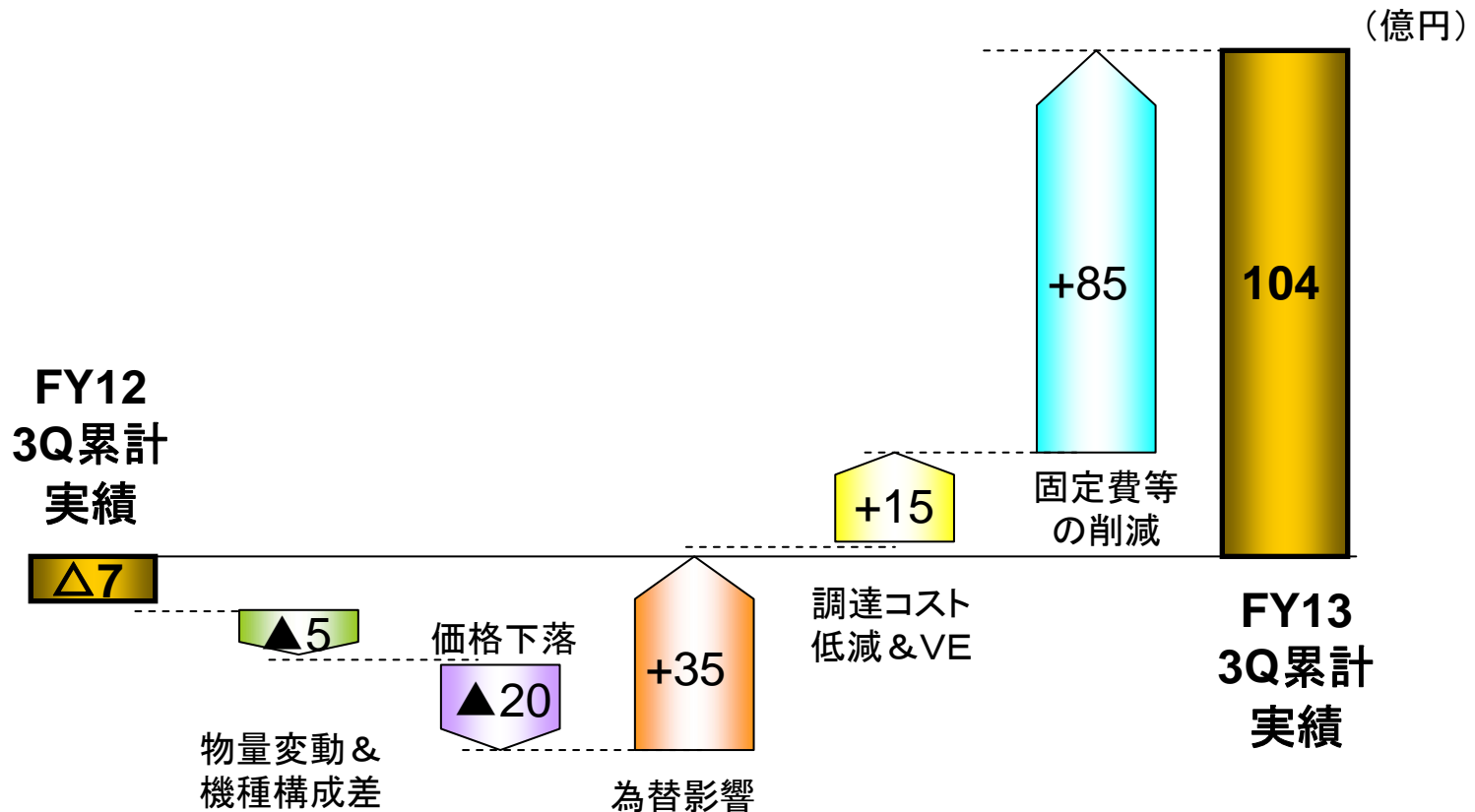
■ 営業利益

アミューズメント向けの物量減影響により
 その他が減益



営業利益の変動要因

プリンタ事業構造改革による固定費等の削減や円安の効果が寄与し、
111億円の大幅改善



P/Lの概要

(単位:億円)	13年度	前年同期
売上高	3,178	3,037
売上原価	2,339	2,264
販管費	734	779
営業利益	104	△7
営業外収支	113	31
経常利益	217	24
特別損益	△35	△4
税引前利益	182	19
当期純利益	145	△13

【対前年比較】

- 販管費は、プリンタ事業の事業構造改革による固定費削減などにより減少
- 営業外収支は、為替差益128億円を計上
・為替差損益(+48→+128)
- 特別損失に、プリンタ事業構造改善費用30億円を計上

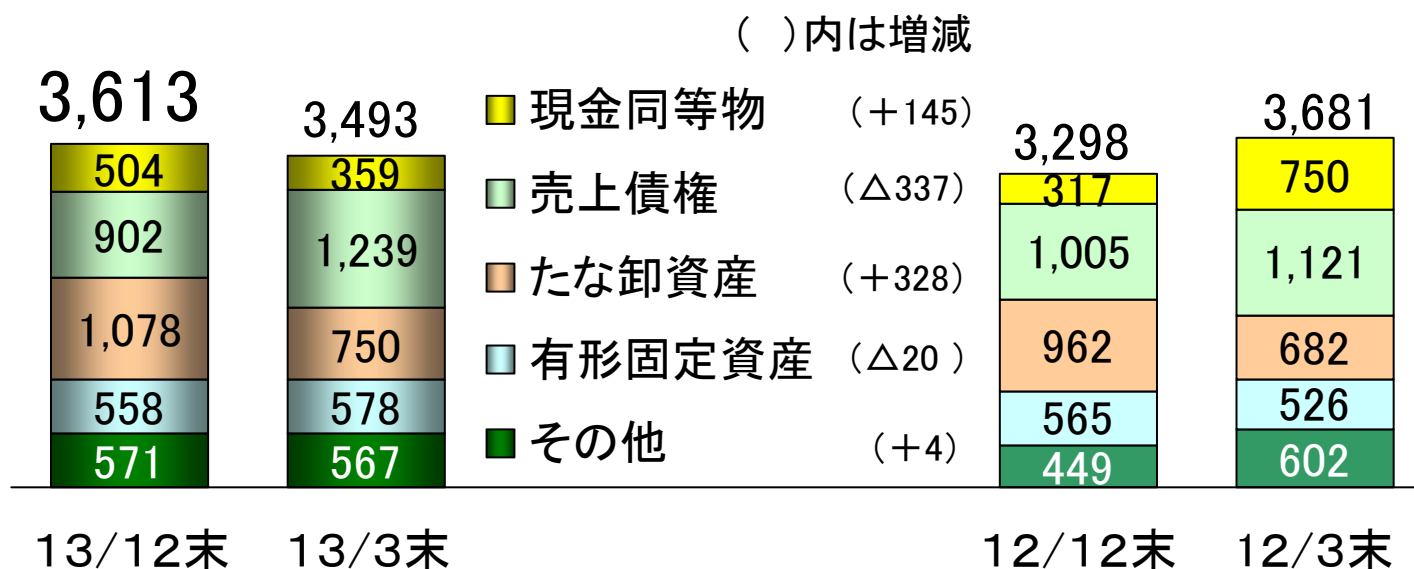
【期末日為替レート】

通貨	12月末	3月末
USD	105.4	94.0
EUR	145.0	120.7

B/Sの概要【資産の部】

- 現金同等物の増加などにより総資産は120億円増加
- キャッシュフローの創出により現金同等物が145億円増加
- 売上債権は前年度末売上の回収が進み減少、たな卸資産は第四四半期売上対応のため増加

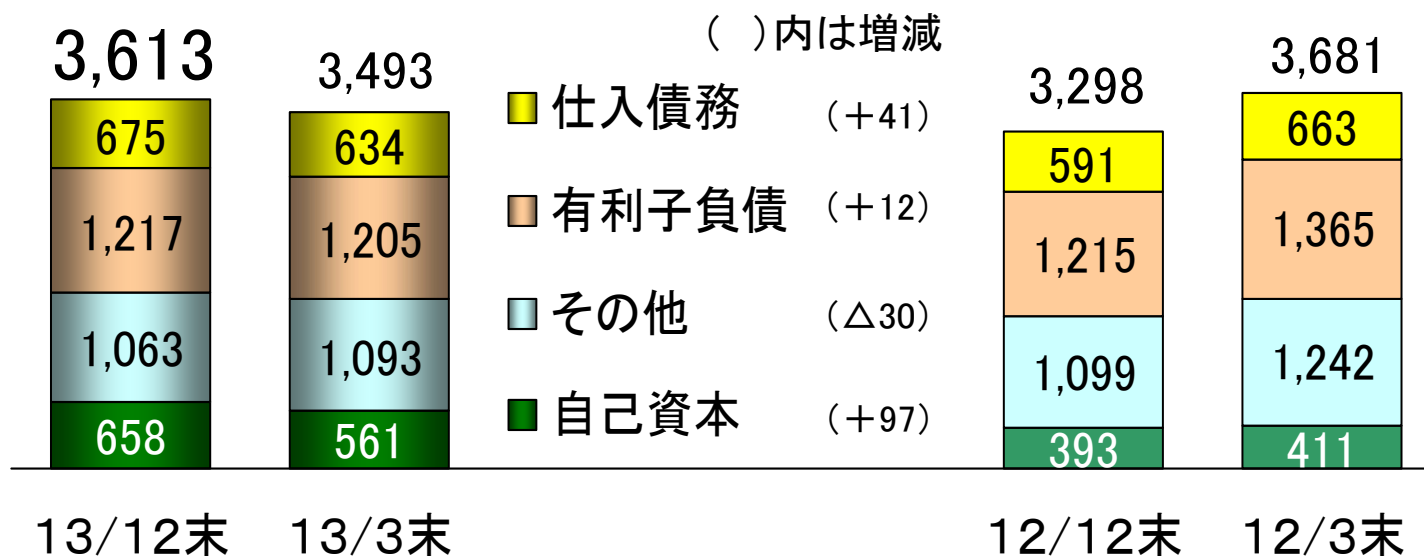
(単位:億円)



B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は当期純利益の積上げなどにより97億円増加。
自己資本比率は18.2%
- NET有利子負債は133億円減少し713億円。NET D/Eレシオは1.1倍

(単位:億円)



キャッシュフローの概要

- フリーキャッシュフローは、当期純利益および運転資金の改善により143億円の収入

(単位:億円)	13年度	前年同期
I 営業キャッシュフロー	215	△181
税金等調整前当期純利益	182	19
減価償却費	105	93
運転資金の増減	73	△196
その他	△145	△97
II 投資キャッシュフロー	△72	△92
設備投資支払額	△62	△78
その他投資活動	△10	△14
フリー・キャッシュフロー(I + II)	143	△273
III 財務キャッシュフロー	△13	△182
キャッシュフロー計(I + II + III)	130	△455

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

本日のご説明内容

1. 第3四半期(累計)期間 決算について
 - 1-1) グループ概況
 - 1-2) セグメント情報
 - 1-3) 営業利益の変動要因
 - 1-4) P/Lの概要
 - 1-5) B/Sの概要
 - 1-6) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想について
 - 2-1) サマリ

通期業績予想サマリ

業績が順調に推移する中、為替水準の前提を見直し
通期業績予想を上方修正

(単位:億円)	通期業績予想			前年同期
	今回	前回公表	修正額	
売上高	4,840	4,800	+40	4,558
情報通信	3,020	3,020	—	2,930
プリンタ	1,260	1,210	+50	1,114
EMS	380	390	△10	327
その他	180	180	—	187
営業利益	260	240	+20	135
情報通信	225	220	+5	238
プリンタ	50	40	+10	△88
EMS	20	20	—	16
その他	25	25	—	30
消去・本社費	△60	△65	+5	△61
経常利益	340	240	+100	203
当期純利益	250	150	+100	136

(参考)	4Q想定為替レート
USD	95.0→103
EUR	125.0→140



Open up your dreams